

第14回デンパークフォトコンテスト 春の部 審査結果

第14回デンパークフォトコンテスト[春の部]にたくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。今回もデンパークの花や自然の魅力、人々が楽しむ表情・姿を写した力作が多数集まりました。

応募総数74点(33人)の中から、見事入選された作品8点を発表します。
なお、四季ごとに募集を行い、各期ごとに入選した作品計32点から、より優秀な作品8点を選定いたします。

春の部 入選(8名) ※敬称略・撮影日順



『ファンタジックサークル』 作者:市川修(岡崎市)

【作者コメント】
神秘的な絵画のようで目を奪われました。
フローラルプレイス東出口周辺/3月21日撮影

【審査員コメント】
・タイトルの通り植物の不思議を感じます。
・園と放射状の先に白があり、美しい作品です。



『妖精が遊ぶ池』 作者:大矢敏博(安城市)

【作者コメント】
桜吹雪で池に浮いた花びらが強風で流されている様子は水の妖精が池で遊んでいるようであった。
水生植物の池/4月15日撮影

【審査員コメント】
・遅めのシャッタースピードを用いて桜の花びらが流れて写り、幻想的です。



『ホラ!見てかわいいネー』 作者:禮田輝久(豊田市)

【作者コメント】
お母さんの「そーっと、やさしく抱くのよ」のアドバイスでできた子どものほほえみを写しとめた。
イベント「動物ふれあい広場」にて/4月28日撮影

【審査員コメント】
・タイトル通り、楽しくとても美しい写真です。
・ひよこ達と親子のあり方がほほえましい。



『ウワー・フラミンゴ!』 作者:谷口近(安城市)

【作者コメント】
鶴と噴水を撮影中、風にゆれた水柱が鳥のように写った一枚
水生植物の池/5月6日撮影

【審査員コメント】
・噴水の向こう側にいる鶴がシャワーを浴びているようにも見えます。こっけいでもあり、涼しげでもあり。



『嬉しい出会い』 作者:的場初男(安城市)

【作者コメント】
突然のキャラクター出現に感激
ヨーロッパ花壇付近/5月6日撮影

【審査員コメント】
・この場の空気感が伝わって楽しくなります。小さなお祭り気分です。
・「ウナモ」の前にいる子どもの表情が明るいととっても良い。



『恐竜に食べられる〜』 作者:木村鏡庚(安城市)

【作者コメント】
父親がふざけて手を恐竜の口の中に入れてたところ、子どもが親を助けようと手を引っ張った「家族の絆」の1枚です。
不思議の森/5月10日撮影

【審査員コメント】
・「ローマの休日」の真実の口を思わせる楽しい写真です。
・親子の表情の対比もよい



『森の王者』 作者:杉浦康弘(安城市)

【作者コメント】
迫力ある恐竜の姿
「デンパークディノランド」内/5月12日撮影

【審査員コメント】
・魚眼レンズの効果を十分に引き出し、太陽の入れ方もうまい。
・黒いスペースも効果的。



『ナンジャモンジャがお出迎え』 作者:倉内幸博(知立市)

【作者コメント】
雪が積もったように見えるヒトツバタゴの木に初夏を感じました。
ナンジャモンジャの森/5月上旬撮影

【審査員コメント】
・左下の男の子三人が地図を見ながら探検に出かけるような雰囲気が見ていて楽しくなります。
・ナンジャモンジャとのボリュームの対比もよいです。

【審査員講評】

- ・各々が独自の視点で対象を見て、自分の世界を表現している点が良かったです。
- ・自前のインクジェットでプリントした作品が多く見受けられましたが、自宅プリントは白黒がはっきりしがちで色調表現に限界があります。できるだけ外注(写真屋へ依頼)をお勧めします。

「第14回フォトコンテスト」募集期間

☆夏の部

対象期間:2019年7月13日~9月2日の間に撮影したもの
応募締切:2019年9月12日(木)必着

☆秋の部

対象期間:2019年9月14日~11月17日の間に撮影したもの
応募締切:2019年12月2日(月)必着

☆冬の部

対象期間:2019年11月23日~2020年1月24日の間に撮影したもの
応募締切:2020年2月10日(月)必着